経営改善・事業再生支援の取り組みの個別事例

株式会社　滋賀銀行

「地域密着型金融推進計画」の中において推進する事業再生に向けた積極的取り組みについて、平成１７年度における当行の取り組みの具体例は、下記のとおりでございます。

１．体制整備の状況

平成１５年１０月、審査部内に企業経営支援室を設置して、現在７名（室長１名、審査役３名、コンサルティング担当３名）のチームにて早期の事業再生に向けて一歩踏み込んだ取り組みを図っております。具体的には、中小企業診断士の積極登用、公認会計士、弁護士、税理士、コンサル会社等の外部専門家との連携を強め、経営支援対象先２６５先に対して早期再生に向けた多面的なサポートを実施しております。

２．経営支援の実績

（**事例**）

項　目	内　　容
支援先企業の概要	業種：製造加工業 業暦：１０年以上 企業規模：資本金１億円以下ならびに従業員数１００人以下
当行の施策、役割	・　営業赤字解消のため、販売先管理の徹底と経費削減を指導。 ・　販売先管理では、大口受注先において商品毎に採算管理を徹底させ、社長自らが先頭にたって、受注時に採算ラインを十分意識した価格交渉を行うことを指導。 ・　経費削減については、同業他社との労働生産性を比較し、同社の生産性の低さを指摘。人員効率化により労務費・人件費の削減を指導。
経営支援後の当該企業の状況	・　２年間で労務費、人件費を中心に、原価、販売管理費ともに大幅削減に成功。その結果、債務者区分は正常先にランクアップし、経常利益において黒字転換を実現した。 ・　ランクアップのポイントは、代表者自ら危機感を持ち、自社の分析を行い、量的拡大よりも採算を重視した改革を推進できたことにある。

以　上